

令和 7 年度分科会活動報告書

分科会名称：遠隔医療基盤検討分科会

分科会長氏名；近藤博史

分科会長所属；協立記念病院

分科会長連絡 E-mail；kondoh@tottori-u.ac.jp

1. 分科会の目的

遠隔画像診断、地域医療連携、オンライン診療と遠隔医療は発展した。今後、医療 DX が発展するために Interoperability に関するデータ統合における名寄せ、標準化、セキュリティと技術および AI、IoT, robot の技術と制度の基盤を総合的に検討する。

2. 令和 7 (2025) 年度活動実績と成果

- ・ CISSMED 支援
- ・ JTTA2025 でシンポジウム「生活習慣病、ロコモティブ症候群対策に必要な医療と介護のネットワークとその EHR+PHR とに求められる最新技術基盤」の企画、講演
- ・ JTTASP2026 2026 年 2 月 23 日（全国家電会館）シンポジウム企画、講演
- ・ JAMI2026 シンポジウム「生活習慣病、ロコモティブ症候群対策に必要な医療と介護のネットワークとその EHR+PHR とに求められる最新技術基盤」の企画、講演
- ・ 北海道難病遠隔医療講演会 2025 年 5 月 16 日 TKP ガーデンシティで「遠隔医療の現状と未来像」講演（近藤）
- ・ 第 98 回日本整形外科学会 2025 年 5 月 24 日東京国際フォーラムで「医療 DX とサイバーセキュリティ」講演（長谷川、近藤）
- ・ 第 84 回日本公衆衛生学会総会 2025 年 10 月 29 日グランシップ「サイバーセキュリティの基本と現状」で講演（長谷川、近藤）

3. 令和 8 (2026) 年度活動計画

- ・ 医療情報システムの安全管理ガイドラインの責任分界点に関する提言の作成（日本では保守回線と遠隔読影の回線導入部分のセキュリティが弱いと考えている。特に RESTful. api 接続に関する議論が必要と感じている。）
- ・ 遠隔画像診断におけるモニター診断の読影環境に関する提言の検討（日本医学放射線学会の遠隔画像診断ガイドライン第 2 版のサイバーセキュリティとモニター診断に関する部分を担当したが、モニター診断における環境因子に関しての知識が日本では広がっていないと感じたので、遠隔医療学会として提言と研修ができると考えている。）
- ・ 医療 DX 研修会検討に参加
- ・ 介護系サイバーセキュリティへの支援
- ・ CISSMED への支援
- ・ JTTA2026 でのシンポジウム企画
- ・ 全国医療情報プラットフォーム含む医療 DX のセキュリティ対策方法の検討（特に RESTful. api 接続に関するセキュリティは定着していない。）

令和7年度分科会活動報告書